久留米	 	 等専門学校	開講年度 平成29年度 (2	2017年度)	授業科目			
科目基礎		<u> </u>	בן צון כבאפון אין נוענון			, Син 11		
科目番号		1362		科目区分	一般 / 必修			
授業形態		講義		単位の種別と単位	拉数 履修単位: 2	2		
開設学科		生物応用化	七学科	対象学年	4			
開設期		通年		週時間数	2			
教科書/教	材			let Academy				
担当教員	Fi	安部 規子						
<u>到達目標</u> 1.ビジネス		めとして国際	社会で用いられる英語が、読解聴解の <u></u> 銭的に活用できること。	双方で理解できる。	こと。			
3.TOEIC	Testの出題	形式に関する	は明に石用 (さること。					
ルーブリ	リック		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レヘ		 未到達レベルの目安		
歌/本位口4 新 			基本的な語彙に加え、トピックに	基本的な語彙はお	つかるが、トピッ	基本的な語彙を理解できない。		
評価項目1 語彙 			関連した語彙を理解できる。 授業中に実施するリスニングの穴	クに応じた語彙は 授業中に実施する	カリスニングの穴	 授業中に実施するリスニングの次		
	- フハーン - 語法・文		埋めを8割以上正解する。 語法・文法の基本的知識を応用し	埋めを5割以上正 基本的な語法・文	ズ法の知識はある	埋めで正解が4割以下。 基本的な語法・文法の知識が定着		
評価項目3	<u> </u>	·/A	、難解な文でも応用できる。 毎分100語程度の英文を読み、そ	、難解な文でも応用できる。				
		501.00	の内容を細部に渡り理解できる。	の内容の要旨を理	世解できる。	かみながら読むことができない。		
		頁目との関 ^ん	糸					
教育方法	寺	~~拉米 1	ナー1~2年示学羽」も英語の女法等	五島を松合的に作る	図オスレレナル で			
概要		尺度とし 可能にする	t、1~3年で学習した英語の文法や語彙を総合的に復習するとともに、現在英語コミュニケーション能力 こ社会で広く認知されているTOEIC Testの練習問題に取り組むことにより、より高いスコアを取得すること るとともに、ビジネス関連を始めとして国際社会で用いられる英語が理解できるようになることを目的とす					
授業の進め	方・方法	第1回目の 点を合わり Words」 コアを取行	対策業ではTOEIC形式のテストを行い、各自の現在の英語力を把握する。毎回の授業ではいくつせて実践演習を行う。英和辞典は必ず持参し、自律的に学習すること。授業外でもNetAcadem 及び「英文法コース」を各自で進め、学校で実施されるTOEIC IPや公開テストを受験すること 得することを期待する。					
注意点		(1)点数 (2)評価 (3)再記	な配分:中間試験及び期末試験で80%。 両基準:60点以上を合格とする は:課題と提出物において問題がない場	、Net Academy及 場合、再試を行う <i>こ</i>	び提出物等20%で ことがある。	総合的に評価する。		
授業計画	Į							
		1	授業内容		週ごとの到達目標			
			オリエンテーション					
		2週	Unit 1 Traveling Vocabulary / Listening		旅行に関する語彙を覚える。			
			Unit 1 Traveling Grammar / Reading		自動詞と他動詞を理	里解する。		
		4週 ,	Unit 2 Daily Life & Shopping Vocabulary / Listening		日常生活や買い物に関する語彙を覚える。			
	1stQ	5週	Unit 2 Daily Life & Shopping Grammar / Reading		呼応表現を理解する	3.		
			Unit 3 At Restaurant Vocabulary / Listening		レストランや外食(こ関する語彙を覚える。		
前期		/旭	Unit 3 At Restaurant Grammar / Reading		比較表現を理解する	3.		
		0週,	Unit 4 Job Hunting Vocabulary / Listening		就職活動に関する	活彙を覚える。		
	2ndQ	9週	Unit 4 Job Hunting Grammar / Reading		関係詞節や分詞句による修飾を理解する。			
		10/0	Unit 5 At the Office 1 Vocabulary / Listening		オフィス内で使われる語彙を覚える。			
		工厂型	Unit 5 At the Office 1 Grammar / Reading		適切な時制が使える	るようにする。		
		12週	Unit 6 At the Office 2 Vocabulary / Listening		数字を聞き取れるようにする。			
		13週	Unit 6 At the Office 2 Grammar / Reading		可算名詞・不可算名詞を理解する。			
		 	Review Test 1					
		 	Review Test 1					
後期	3rdQ		Unit 8 Doing Business Online Voc	abulary /	 ネットビジネスに関する語彙を覚える。			
		つ:国	Listening Unit 8 Doing Business Online		仮定法の基本を理解する。			
		つ:田 「	Grammar / Reading Unit 9 Housing Vocabulary / Listening		家庭や家事に関する語彙を覚える。			
		4 注目	Unit 9 Housing		前置詞の使い方を理解する。			
	L	TVU	Grammar / Reading		削追訶の状い力を理解する。			

### 14 Making Deals & Contract (Grammar / 動名詞と不起知の像い方を理解する。 ### 20 Unit 11 Public Service			5週 (Unit	Unit 10 Making Deals & Contract 取引や契約に関する語彙を			 える。		
Page		E			Unit	it 10 Making Deals & Contrac tGrammar /		動名詞と不定詞の使い方を理解する。			
日本			7週		Unit	t 11 Public Service		公共のサービスに関する語彙を覚える。			
### Page			8週	_{Q油} Uni		11 Public Se	rvice 1±2	接続詞(時・理由・譲歩)の使い方を理解する。			
10回			9週		Unit	12 Banking & Finance		金融に関する語彙を覚える。			
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			10週	10週 Unit: Gram 11週 Unit: Vocal 12週 Unit: Gram Unit:		12 Banking & Finance		形容詞・副詞の使い方を理解する。			
### 4th Q			11返			13 At Semin	ars & Workshops	ワークショップ等に関する語彙を覚える。			
### 13週	4	ŀthQ	12返			13 At Semin	ars & Workshops	文脈をとらえる方法を理解する。			
14명			13返			: 14 News & Media					
15度			14週		Unit 14 News & M		1edia ++		 方を理解する。		
分野 学習内容 学習内容 学習内容 野速レベル 授業選 英語の一切と音との関係を理解できる。 2 2 2 2 2 2 2 2 2	 モデルコス	アカリキ			 学習	 内容と到達					
英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		, ,,, , ,			, , ,				到達レベル	授業週	
英語の発音記号を見て、発音できる。							英語のつづりと音との関係を理解でき	る。			
英語連用の								しながら発声できる。			
東部連用の 数値となる 対価											
英語連用の							リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。		2		
英語連用の 基礎となる 知識 文における基本的なイントネーションを正しく理解し、 育読する 文とができる。 文における基本的な区切りを理解し、 育読することができる。 文における基本的な区切りを理解し、 奇読することができる。 文における基本的な経験を習得する。 中学校で既習の1200話程度の語彙を定着させるとともに、2600話 復度の職業を新たに習得する。 中学校で既習の父渉事項や様々を定着させる。 高等学校学習指導機能に示されているレベルの文法事項や構文を 富得する。 日常生活や身近な話題に関して、 守とした発育で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、 守とした発育で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 初明や物語などの文質を毎分100話程度の速度で関さまたに行る 太子に育造派できる。 干易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 を読み取ることができる。 干易な英語で書がれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 在読み取ることができる。 でも読み取ることができる。 でも読み取ることができる。 でも同題は外の言語や生化理解しようとする姿勢をもち、実際の場 回覧に持つの速度であまるとができる。 毎分100話程度の速度で平易なが語文などを読み、その概要を把握できる。 自分や身近なことについて100話程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なことについて100話程度の簡単な文章を書くことができる。 自分・分野近できる。 自分・分野近できる。 自分・分野近できる。 自分・分野近できる。 自分・分野できる。 自分・分野近できる。 自分・分野に関する情報や考えについて、 定さの人間活動の歴史の身優と過まによび更り観観点から理解できる。 は会しを保護に温期した産業発展に向いて現在の助めの は合いて理解できる。 は合いの様となど、文化の相違について理解できる。 は合いの様となど、文化の相違について、歴史的または地理的観点から理解できる。 は合いとなどを決定していて、地理のまたは地理的観点から理解できる。 は合いとなどの文化的語 は合いとなど、文化の相違について、歴史の意などの文化的語 は合いとなど、文化の相違について、歴史的または地理的観点がら理解できる。 は合いとは、宗教などの文化的語 は合いとなど、文化の相違にのいて、必要などの文化の語 は合いとなど、文化の相違にのいて、歴史的意など、文化の相違にのいて、歴史的意など、文化の相違にのいて、歴史的または地理が観点がら理解できる。 は合いとなどの文化の語 は合いとなどの文化の語 は合いとなどの文化の語を は合いとなどの文化の語を は合いとなどの文化の言なといて、世界のなどの文化を表していて、歴史の意味を表していて、 は合いとなどの文化を表していて、 は合いとなどの文化を表していて、 は合いとなどの文化を表していて、 は合いなどの文化を表していて、 は合いとなどの文化を表していて、 は合いとなどの文化を表していて、 はなどの文化を表しまたなどのではなどのなどのなどのではなどのなどのなどのではなどのなどのではなどのなどのなどのではなどのでは									2		
対域 文における基本的な区切りを理解し、音話することができる。 2 中学で既習の1200語程度の調素を整定者させるともに、2600語 2 自分の専門に関する基本的な語彙を置待する。 2 中学校で既習の文基本的な語彙を習得する。 2 中学校で既習の文基本的な語彙を習得する。 2 中学校で既習の文基本的な語彙を習得する。 2 中学校で既習の大事項や博文を定着させる。 高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や博文を 2 目常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっき 2 と 1 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっき 2 と 1 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2 説明・中物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる 2 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 2 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度の速度で対しらいまする。 2 中界生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度の速度で対していました。 2 中界生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度の速度でからまる。 2 中界生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度の速度で表に対してきる。 2 申別は10語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 2 の条履が社会に及ほした影響について埋御できる。 1 日本を自然環境に対して地理の観点から理解で表。 2 した影響について、理りまたは地理的観点から理解できる。 1 日本を自然環境に関わいた理解できる。 1 日本を自然環境に対して現まれた歴史的観視から理解できる。 1 日本を自然環境に対して現まれた歴史的観点から理解できる。 1 日本を自然環境に対して現まれた歴史的観点から理解できる。 1 日本を自然を開まれた歴史的ないの理解できる。 1 日本を自然で表る。 1 日本を自然環境に対して現まれた歴史的観点から理解できる。 2 の条履が社会に及ぼしかいて、歴史的または地理的観点から理解できる。 1 日本を自然を開まれた理が表現した。 2 の条履が主義を記しいて、歴史的観点から理解できる。 2 日本を自然を表現した。 2 の条履が主義を記しいて、歴史的観点から理解できる。 2 の条履が主義を記しいて、歴史的または地理的観点がら理解できる。 2 の条履や生を認識し、互助ないを算量できる。 2 の条履を表現した。 3 の条度を表現した。 3 の条度を表現した。 3 の条度を表現した。 4 の条度を表現したる。 4 の条度を表現したる。 4 の条度を表現したる。 4 の条度を表現した。 4 の条度を表現した。 4 の条度を表現した。 4 の条度を表現した。 4 の条度を表現した。 4 の条度を表現したる。 4 の条度を表現したる。 4 の条度を表現しませた。 4 の条度を表現したる。 4 のを表現したる。 4 の条度を表現したる。 4 のを表現したる。 4 のを表現したる。 4 の条度を表現したる。 4 の条度を表現したる。 4 の条度を表現したる。 4 の条						英語運用の基礎となる	文における基本的なイントネーションを	を正しく理解し、音読する	2		
中学で既認の1200話程度の語彙を定着させるとともに、2600語 2 自分の専門に関する基本的な語彙を置待する。 2 中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。 2 高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を 2 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではつき うとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2 規を用いて英語と話すことができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2 財産用いて英語と話すことができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2 元に置読ができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2 一部を指いの事故を語ったのできる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2 一部を活か取ることができる。 日常生活で身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 2 日常生活で身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 2 日常生活で身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 2 日常生活で身近な話題に関立できる。 毎分100語程度の定定で平易な物語文などを読み、その概要を 2 毎分100語程度の速度で物語文などを読み、その概要を 3 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、 2 できる。 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、 2 できる。 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、 2 できる。 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、 2 に発動の歴史が疾患維護たは現在の地域的特性、産業などの発展が主義を持定していて、 2 できる。 人間活動と自然限度との関わりや、産業の展別できる。 人間活動と自然限度との関わりや、産業の展別できる。 人間活動と自然限度との関わりや、産業の発度に向けた現在までの取り組み 1 した影響について、 理り書とに対している。 1 社会会との発展が表現まれて理り観点から理解できる。 1 1 社会会の最初など、文化の諸事 1 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化の諸事 1 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化の諸事 1 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化の諸事 1 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化の諸事 1 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化の諸事 1 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化の音報 2 でのなり 2 で						知識			2		
自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。									2		
中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。									2		
漢語 東語 東語 東語 東語 東語 東語 東語 東語 東語							中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。				
英語 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりつとした発音で語された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表えいた。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように自誘ができる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるとうに自誘ができる。 世常生活・カラ近な話題に関して、自分の意見や感想を整理した。 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 日常生活・カラ近な話題に関して、自分の意見や感想を整理した。 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 日常生活・カラ近な話題に関して、自分の意見や感想を整理した。 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 日常は一方の表記に関して、自分の意見や感想を整理した。 100語程度の速度で平易な物語文をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 毎分100話程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。自分や身近なことについて100話程度の簡単な文章を書くことができる。 日分や身近なこととび自分の専門に関する情報や考えについて、200話程度の連度で物語文や草を書くことができる。 自分や身近なこととび自分の専門に関する情報や考えについて、200話程度の簡単な文章を書くことができる。 日が中身近なこととび自分の専門に関する情報や考えについて、200話程度の簡単な文章を書くことができる。 日が中身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200話程度の連定を書きくことができる。 日が中身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、2 を変素が関係を表していて理解できる。 人間活動と自然環境との関かりた。産業の発度が自然環境に及ぼしていて、地理の意味と可能を表していて、地質の意味環境に及ぼしていて、地質の意味と可能なが自然を表していて理解できる。 日家間や国家間できる。日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的話事系にこいて、歴史的または歴史的観点から理解できる。日歌間で国家間で記れて、いかゆる民族問題など、文化の相違に起因する諸問題について、地理のまたは歴史的観点から理解できる。 日家間で国家間で記れて、地理的意たは歴史の観点から理解できる。 日家間で国家間で記れていて、地理的表には地理的観点から理解できる。 日家間で国家間で記れている場では、またなどのよりに対していましていましていましていましていましていましていましていましていましていま							高等学校学習指導要領に示されているし 習得する。	レベルの文法事項や構文を	2		
現を用いて英語で話すことができる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる 2				英語		力の基礎固	日常生活や身近な話題に関して、毎分類のとした発音で話された内容から必要が	100語程度の速度ではっきな情報を聞きとることがで	2		
議師や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる ように音読ができる。 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 2								2			
平場な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 を読み取るごとができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 毎国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場 面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 年かりまがなこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200話程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200話程度の簡単な文章を書くことができる。 日がりまが社会に及ぼした影響について理解できる。 人間活動の歴史的発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、地理的または歴史的観点から理解できる。 社会の発展が社会に及ぼした影響について、地理のまたは歴史的観点から理解できる。 日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事 別について、歴史的または歴史的観点から理解できる。 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理のまたは歴史的観点から理解できる。 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理のまたは歴史的観点から理解できる。 マ化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理 1								度の速度で聞き手に伝わる	2		
中国	甘磁的能力		会				平易な英語で書かれた文章を読み、そのを読み取ることができる。		2		
1	全吨的配列	科学							2		
握できる。 1									2		
できる。 毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を 把握できる。 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、 200語程度の簡単な文章を書くことができる。 産業活動(農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等)など の人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業など 1 の発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、地理的または歴史的観観点から理解できる。 社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組み について理解できる。 日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事 象について、歴史的または地理的観点から理解できる。 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解で 1 さる。 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理 1								などを読み、その概要を把	3		
把握できる。								の簡単な文章を書くことが	2		
200語程度の簡単な文章を書くことができる。								文などを読み、その概要を	3		
正義							自分や身近なこと及び自分の専門に関す 200語程度の簡単な文章を書くことがで	する情報や考えについて、 できる。	2		
社会 地歴 した影響について、地理的または歴史的観観点から理解できる。 1 社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組み 1 日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できる。 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理 1						地歴	の人間活動の歴史的発展過程または現る	在の地域的特性、産業など	1		
社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組み 1 について理解できる。 日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事 家について、歴史的または地理的観点から理解できる。 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理 1							人間活動と自然環境との関わりや、産業	業の発展が自然環境に及ぼ	1		
世歴 日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できる。 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理					t会		社会や自然環境に調和した産業発展に		1		
国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違 に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解で きる。 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理				社会			日本を含む世界の様々な生活文化、民族	族・宗教などの文化的諸事 から理解できる。	1		
文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理し							国家間や国家内で見られる、いわゆる! に起因する諸問題について、地理的また	 民族問題など、文化的相違	1		
								尊重することの大切さを理	1		

					哲学者の思想に触れ かについて理解でき	ι、人間とはどのよ ₹る。	うな存在と考えら	れてきた	1		
					諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるべきと考えられてきたかについて理解できる。				1		
								り方につ	1		
				'	民主政治の基本的原 て理解できる。	でである。 理、日本国憲法の	成り立ちやその特	性につい	1		
							の機能、経済面で	の政府の	1		
								実現に向	1		
							科学技術が社会や	自然環境	1		
					社会や自然環境に調 についての様々な考	間和し、人類にとっ きえ方について理解	て必要な科学技術 『できる。	iのあり方	1		
				地歴・公民	今日の国際的な政治 とそのさまざまな計	3・経済の仕組みや 背景について理解で	、国家間の結びつ きる。	きの現状	1		
					環境問題、資源・コ いった地球的諸課題	ニネルギー問題、南 風とその背景につい	記れ問題、人口・食 Nて理解できる。	糧問題と	1		
							課題の解決に向け	た現在ま	1		
工学基礎 技		技術史		技術史				を理解し	1		
	試験		発表		相互評価	態度	ポートフォリオ	課題		合計	
ì	80		0		0	0	0	20	100		
基礎的能力 80		30 0			0	0	0	20	100		
カ 0		0			0	0	0	0	0		
分野横断的能力 (0 0			0	0	0	0	0		
		試験 80 80 0	試験 80 80 0	工学基礎 技術史 試験 発表 80 0 80 0 0 0	公民 公民 上が 大術史 技術史 技術史 技術史 表表 80 0 80 0 0 0 0	かについて理解でき 諸思想や諸宗教によえられてきたかにつ。 諸思想や諸宗教によれいとのように考え 民主政治の基本的の 資本主義経済の特質 役割につかである。 資本主義経済の特質 現代社会の政ののがた現代を表のときについて、 現代科える影響環境に記者 中についての書響について、 大きののではまな音について、 はについてののでいるなど、 でののでいるなど。 環境問題、資源に記者 同際平和・国際協力での取り組みついて 歴史の大きな流れの、、自らの果たしてい がまないでの、自らの果たしていない。 がまないでの、はないでのではまな音にでいる。 はについて、 はいったもな流れの、、 はいったしていて、 はいった。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい	かについて理解できる。 諸思想や諸宗教において、自分が人とえられてきたかについて理解できる。 諸思想や諸宗教において、好ましい礼いてどのように考えられてきたかを理民主政治の基本的原理、日本国憲法のて理解できる。 資本主義経済の特質や財政・金融など役割について理解できる。 現代社会の政治的・経済的諸課題、まけた現在までの取り組みについて理解できる。 社会や自然環境に調和し、人類にとっに与える影響について理解できる。 社会や自然環境に調和し、人類にとっについての様々な考え方について理解できる。 社会や自然環境に調和し、人類にとったも、資質問題、資源・エネルギー問題、南いった地球的諸課題とその背景について理解できる。とそのさまざまな背景について理解できる。とそのさまざまな消景について理解できる。 本会や自然環境に調和し、人類にとったものとそのさまざまな背景について理解できる。 とそのさまざまな消景について理解できる。 本会や自然環境に調和し、人類にとったものと、である。 本会や自然環境に調和し、人類にとったものと、である。 本会や自然環境に調和し、人類にもいて、科学技術のと、である。 本会にない、自身の果たしていく役割や責任を理解を表現していく役割や責任を理解を表現していく役割や責任を理解を表現していく役割や責任を理解を表現していく役割や責任を理解を表現していく役割や責任を理解を表現していく役割や責任を理解を表現していく役割や責任を理解を表現していく役割や責任を理解を表現していく役割や責任を理解を表現していくのものといる。 本語は、表現には、表現には、表現には、表現には、表現には、表現には、表現には、表現に	かについて理解できる。 諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるえられてきたかについて理解できる。 諸思想や諸宗教において、好ましい社会と人間のかかれいてどのように考えられてきたかを理解できる。 民主政治の基本的原理、日本国憲法の成り立ちやその特で理解できる。 現代社会の政治的・経済的諸課題、および公正な社会のはた現在までの取り組みについて理解できる。 現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会やに与える影響について理解できる。 現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会やについての様々な考え方について理解できる。 社会や自然環境に調和し、人類にとって必要な科学技術について連解できる。 今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつとそのさまざまな背景について理解できる。 環境問題、資源・エネルギー問題、南北問題、人口・食いった地球的諸課題とその背景について理解できる。 国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けでの取り組みついて理解できる。 国際平和・国際協力のいて理解できる。 工学基礎 技術史 技術史 技術史 を使っ大きな流れの中で、科学技術が社会に与えた影響、自らの果たしていく役割や責任を理解できる。 武験 発表 相互評価 態度 ボートフォリオ 80 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるべきと考えられてきたかについて理解できる。 諸思想や諸宗教において、好ましい社会と人間のかかわり方についてどのように考えられてきたかを理解できる。 民主政治の基本的原理、日本国憲法の成り立ちやその特性について理解できる。 資本主義経済の特質や財政・金融などの機能、経済面での政府の役割について理解できる。 現代社会の政治的・経済的諸課題、および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。 現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会や自然環境に与える影響について理解できる。 社会や自然環境に調和し、人類にとって必要な科学技術のあり方についての様々な考え方について理解できる。 環境問題、資源・エネルギー問題、南北問題、人口・食糧問題とそのさまざまな背景について理解できる。 環境問題、資源・エネルギー問題、南北問題、人口・食糧問題といった地球的諸課題とその背景について理解できる。 国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けた現在までの取り組みついて理解できる。 国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けた現在までの取り組みついて理解できる。 工学基礎 技術史 技術史 技術史 様態度 ポートフォリオ 課題 80 0 0 0 0 0 20 20 20 0 0 0 0 0 20 20 0 0 0 0 0 0 20 2	かについて理解できる。 1	がについて理解できる。 諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるべきと考 1 記想や諸宗教において、好ましい社会と人間のかかわり方につ 1 に立めように考えられてきたかを理解できる。